

事前意見シートまとめ

議題（３）令和６年度事業結果及び評価に関するご意見

令和６年度の市の実施状況が記載されています。良かった取組、工夫が必要だと思われる取組の記載をお願いいたします。

参加者が固定化しがちな事業（教室等）に多くの市民が参加できるようにする方法、事業参加後に自宅等でも食育や健康づくりを継続してするために効果的な方法についてご意見をお聞かせください。

◆ 良かった取組、工夫が必要だと思われる取組

分野	委員名	ご意見
全体	竹中委員	とても多くの取組があり、おおむね計画通りに実施されているとのことでありがたいと思ったし、安心をしました。15～64 歳の生産年齢を対象にした取組はなかなか難しいのかな？と感じた。各々が勤め先で対応してもらっていて、必要がないのかも？かもしれませんが。
食育	竹中委員	食の生産：援農ボランティア制度 ボランティア希望者に対し、受け入れ希望が少ない状況となっている。とあるが、人手不足が解消されているという理由なのか？もしくは受け入れ側の希望にそぐわない結果があり受け入れを控えているという理由なのか？疑問に思いました。
	柴田委員	食文化の体験と継承： 核家族が進んだり、家族のあり方が多様化する中、子ども達は食文化について学んだり体験したりする機会が減ってきたように感じる。この取組を通して、学び深める機会になるので積極的に PR して参加を促したい。 NO.49： 食育の日についてはポスター掲示だけでなく給食だよりを使って昼の放送でも PR している学校もある。月に１回とはなりますが改めて食について考えるよい機会となっている。
	佐野委員	中学校給食が実施されることで引続き食育の大切さを伝える機会が増えると良い。
健康 増進	竹中委員	健康に関するイベントや教室・演歌ビクス とても良いと思いました。松林公民館のみの実施でもったいないと思いました。茅ヶ崎結びや茅ヶ崎ふるさと音頭など盆踊りで使う曲などで茅ヶ崎オリジナルの体操にして、子ども～親～高齢者をつなぐ体操的なものがあれば良いなと思いました。
	佐野委員	介護予防、フレイル予防、転倒予防など身体機能の向上を目的とした講義は参加者が増加している。また、参加しやすい日程に変更したり、申請方法を電子にすることで参加者が増えたのは良かった。
歯及び 口腔	竹中委員	イベントや教室・普及啓発など多くの取組が実施されていて、ありがたいなあと感じました。歯周病に関しては思春期からリスクがあるので対象に合わせた実施が難しいと感じました。
	佐野委員	口腔ケアについては子どもたちだけでなく高齢者にも口腔ケアの大切さを伝える機会を増やせると良い。

◆ 参加者が固定化しがちな事業（教室等）に多くの市民が参加できるようにする方法、事業参加後に自宅等でも食育や健康づくりを継続してくために効果的な方法について

分野	委員名	ご意見
全体	志澤委員	事業の有用性、楽しさに気付いた参加者はリピーターになる一方、事業の存在すら知らない人が多数いるだろうと想像します。スーパーマーケット等、市民が日常的に利用する施設に事業チラシ等情報があると、より多くの人の目に入るように思いました。 事業参加後も食育や健康づくりを継続するために、ユーチューブや音声での復習教材的なものがあると良いように思います。ただし、現行のユーチューブの内容は講義的な感じで楽しさが足りていないので、茅ヶ崎キャラを用いて寸劇のように仕立てたりアニメのようにする等、見てもらうための何らかの工夫も必要かなと感じました。 （現行のユーチューブは）健康づくり講座でチラシを頂いた事で、存在を知りました。チラシをいただかなければ、市のユーチューブ動画の存在に気が付くことはなかったです

議題（４）令和７年度の指標及び目標値に関するご意見

令和７年度の市の取組内容、指標、目標値を記載しています。

各取組分野で関心のある事柄、日頃感じている課題等についてご意見をお聞かせください。

◆ 各取組分野で関心のある事柄、日頃感じている課題等について

分野	委員名	ご意見
全体	竹中委員	各取組の内容はとても良いと感じます。すでにイベント等に参加したことがある意識のある市民の参加はリピートが見込めそうですが、新たな参加者への啓発が難しいという課題にどう対応するのか？考えさせられました。
食育	竹中委員	共食の推進：こども食堂事業 R6で実績値がはねあがっている為、R7の目標値も上げていると思ったが、実施場所も増えているのか？関心をもちました。また、利用している子どもの理由（背景）・地域毎の需要と供給のバランスはどうなのか？など、気になりました。
健康増進	竹中委員	健康に関する相談体制の充実：こころの健康相談 R7で12回の周知を予定している。この周知が、自殺統計でみる50～59歳の層に届くか？また男性にも届くか？気にかかりました。また、学生の年齢層にも届いているか？どのようにしたら周知できるのか？と考えてしまいました。
歯及び口腔	竹中委員	医療機関や保健所の方々の専門性が高い分野の為、取組の継続や新規企画がとても難しい事がわかりました。

議題（５）中間評価の手法について

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画（第３次茅ヶ崎市食育推進計画、第２次茅ヶ崎市健康増進計画、第２次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画）は令和７年度に中間評価を行います。インターネットを用いたアンケートを行い、評価資料にする予定です。１,０００件のアンケート回答を得たいと考えておりますが、アンケート実施にあたり手法の適否やご意見をお聞かせください。

	委員名	ご意見
	志澤委員	インターネットを用いたアンケートは、手間や集計の作業効率の点から妥当と思われますが、IT に不慣れな年齢層からの回答は得られにくいかも知れません
	竹中委員	アンケートの目的と重要性を伝えるのがむずかしいので、明確な説明文が必要と思います。Web アンケートは回収率があがらないので、市民対象のイベント時などに対面で答えてもらう方法と併用するかを検討が必要かも？と感じます。インセンティブなどがあれば回答率はあがりますが、インセンティブ目当ての雑な回答がまざる可能性もあると考えます。１,０００件の回答を得るためには３,０００件～の依頼が必要になりそうだと考えると、市の広報紙や自治会の回覧、駅前やバス停、商業施設での掲示など幅広く告知が必要かもと考え、ハードルが高いです。過去に１,０００件のアンケート回答を得た実績があれば問題ないと思います。
	佐野委員	インターネットや QR コードでの回答など、返信しやすい方法が良いと思う。回答も選択式などスマホで回答しやすい型式が良い。